

2012年3月期第2四半期

決算説明会資料

2011年11月8日



ミツミ電機株式会社



今後の経営戦略	P2
2012年3月期第2四半期 決算の概要	P13
2012年3月期通期予想	P23

【免責事項】

この資料は投資家の参考に資するため、ミツミ電機株式会社（以下、弊社）の現状を理解いただくことを目的として作成したものです。

当資料に記載された内容は、2011年11月8日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に関するご決定は、当資料に全面的に依拠することはお控えいただき、皆様ご自身のご判断でなされるようお願い申し上げます。

今後の経営戦略

代表取締役社長
森部 茂



2012年3月期におけるエレクトロニクス市場の見通し

- 上半期は、東日本大震災から想定より早く回復しました。下半期は、当初想定より需要が下振れしております。
- 加えて、先進国の景気停滞とタイの大規模洪水による影響が更にマイナスに作用する懸念が高いと想定します。
- エレクトロニクス市場は通期で約10%減少と予測します。

電子部品市場の中期トレンド

中期トレンドに大きな変更はありません。

- 電子部品市場は拡大します。
- 新興国市場の拡大とEMS企業の台頭などにより、価格競争が更に激化します。
- 中国の事業運営コスト高騰が継続します。



目 標

売上高3,000億円を回復する

< 方 針 >

- (1) コア技術の深掘りにより競争優位を高める
- (2) 顧客密着型の販売体制を海外で増強する

➤ 既存事業の拡大

- (1) 部品事業の強化
- (2) 内製部品活用によるセット・モジュール事業の競争力強化

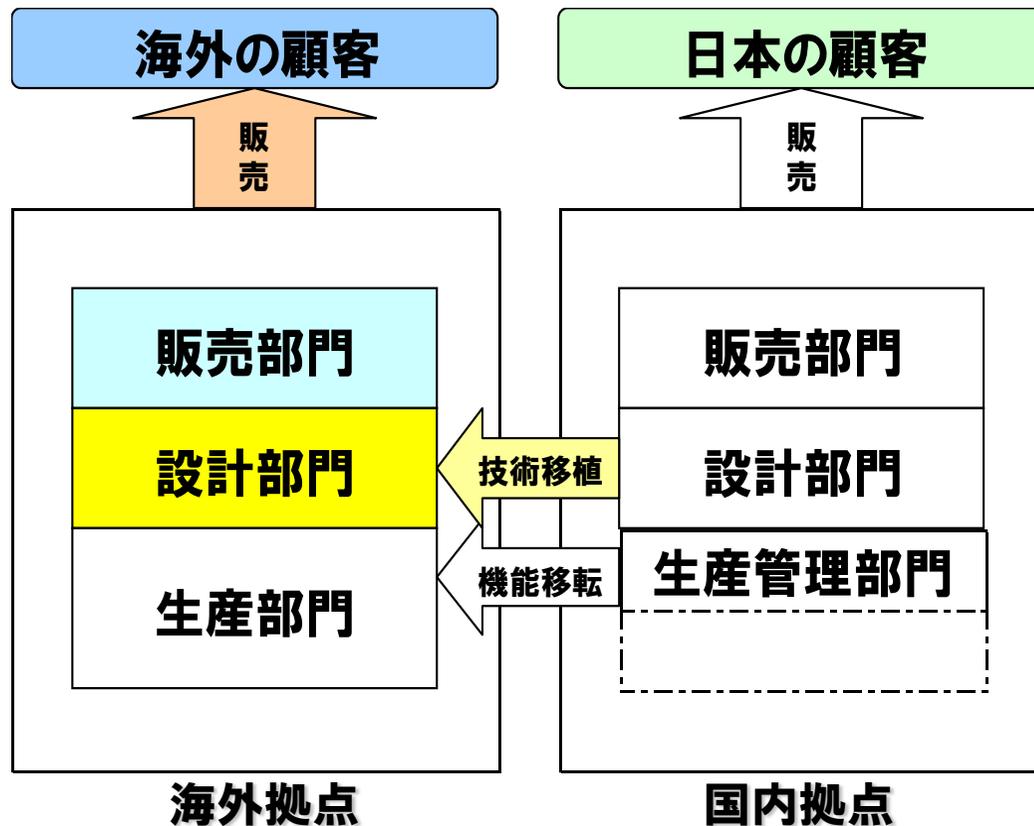
➤ 新規分野の取り組み強化

- (1) 車載事業を新たな収益の柱にする
- (2) 環境エネルギー・ヘルスケアの事業を育成する

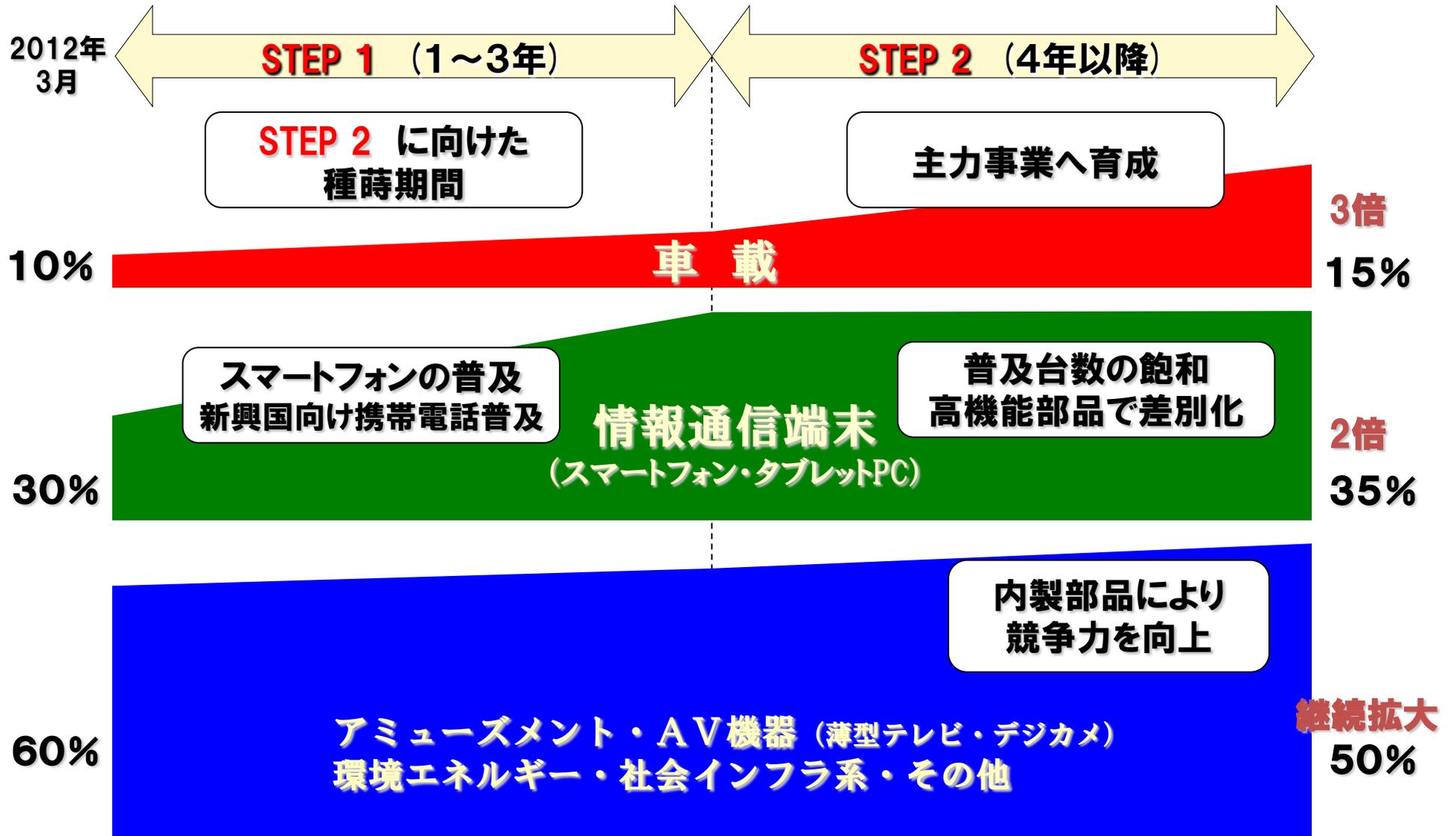
海外の機能強化



海外技術者を増員し、設計力及び技術販促力を強化します。
海外工場で生産に関わる全ての機能が完結する体制にします。



事業規模拡大のシナリオ



今後の経営戦略

市場別方針



情報通信端末関連(スマートフォン・タブレットPC)

携帯型情報通信端末が、スマートフォンとタブレットPCに集約されます。携帯端末に関わる現有リソースをこの2製品に集中し、高機能・小型部品を市場に投入して、事業の拡大と収益性の回復を達成します。

現在の販売製品

カメラモジュール・アクチュエータ(VCM、手振れ補正OIS)
リチウムイオン電池関連半導体・モジュール、ACアダプタ
スイッチ、コネクタ、無線モジュール、コイルなど

新提案

新型入カデバイス、MEMS関連製品など



自動車関連

主力事業へ育成します。

日・米・欧の大手自動車メーカーにTier1として取引を開始しました。自動車^が電子機器化する中で、電子機器市場で競争力のある既存製品を車載市場に投入し、3～5年後までに当社の新たな基幹事業に育成します。

現在の販売製品

アンテナ、ラジオ・TVチューナ(デジタルチューナ)、コイル
車載コネクタ、小型モータ、無線モジュール(WiFi・Bluetooth)
キーレスエントリー

新提案製品

車載カメラ(米国法制化)、リチウム電池の多直モジュールなど

今後の経営戦略

事業別方針



半導体デバイス事業

① 自社設計半導体事業

当社が優位性を持つ2次電池関連半導体とアナログ半導体に注力し、市場占有率を高めます。
社外FABを最大限に活用し、顧客訴求力のある製品を短期間で製品化して、市場投入します。

② ファンドリ事業

千歳事業所を中心に競争力を一層強化し、主力事業に育成します。



高周波事業

① モジュール製品事業

各種高周波モジュールのフルラインナップにより、あらゆる高周波モジュール市場で市場占有率を高めます。
(WiFi、WiMAX、Z-WAVE、GPS、Bluetooth、PLC等)

② IP通信関連事業

成長するIP通信市場での実績と蓄積した技術を活用し、事業を拡大して行きます。
(IPセットトップボックス等)

この2製品事業にリソースを集中し、事業を拡大します。

2012年3月期第2四半期 決算の概要

取締役 経理・総務・システム担当統括部長

齋藤 求

決算ハイライト



- ◆ 売上高は、アミューズメント関連販売の伸び悩み、携帯情報端末関連の減少
- ◆ 利益は、費用削減効果以上に製品価格の下落による悪化

米ドル建て販売価格の円高による下落

海外を含む競合他社への対抗値下げ

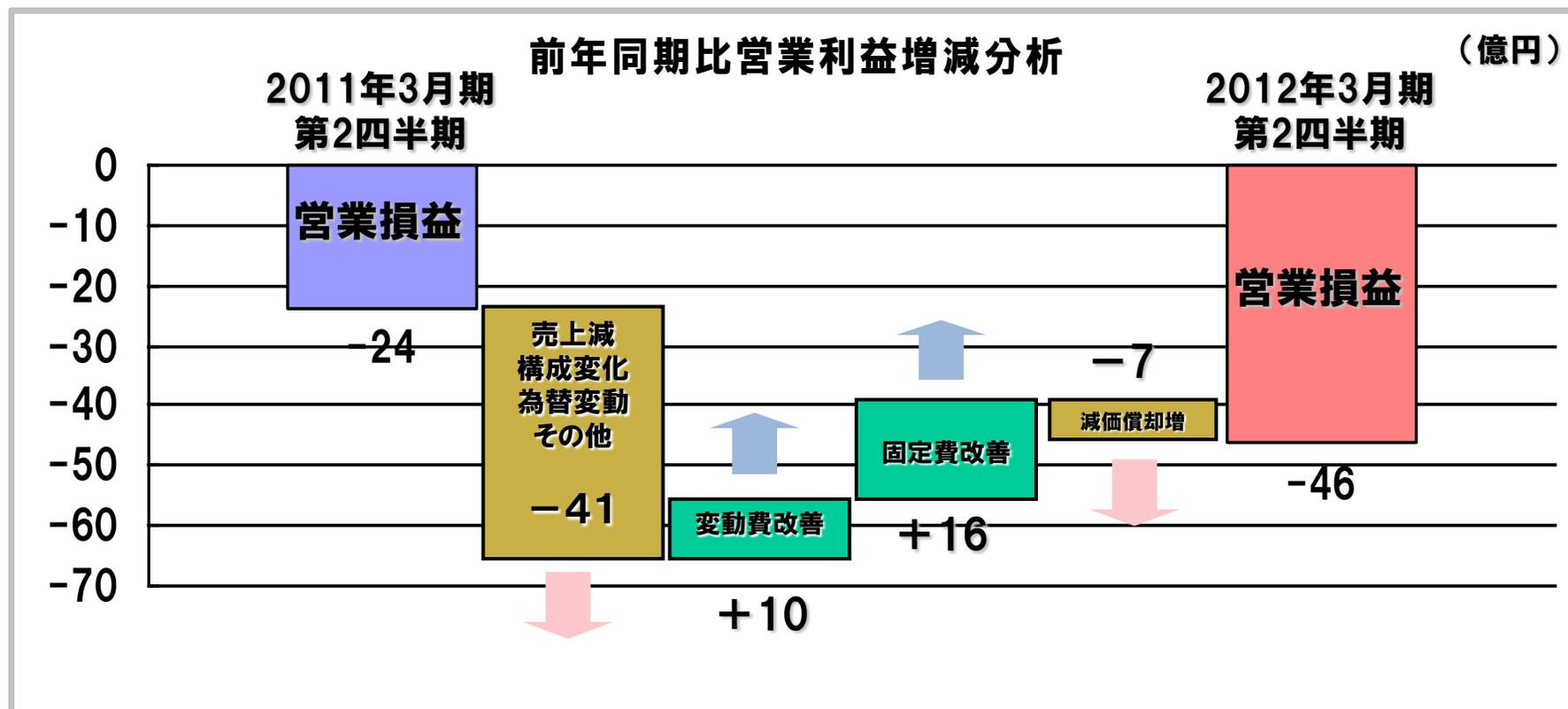
	2011年3月期 第2四半期		2012年3月期 第2四半期		対前期比増減
	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)
売上高	92,742	100.0	81,124	100.0	△11,618
営業利益	△2,422	△2.6	△4,627	△5.7	△2,205
経常利益	△3,234	△3.5	△5,353	△6.6	△2,119
四半期純利益	△1,923	△2.1	△5,599	△6.9	△3,676
為替レート (対米ドル)	89円69銭		80円24銭		9円45銭の円高

決算ハイライト 四半期営業利益増減分析



◆ 前年同期比 -22億円

- | | |
|---------------------------------|-------|
| (1) 売上減・製品構成の変化・為替変動などによる付加価値減少 | -41億円 |
| (2) 変動費の削減による改善 | +10億円 |
| (3) 減価償却費を除く固定費の削減による改善 | +16億円 |
| (4) 減価償却費の増加による費用増加 | -7億円 |



決算ハイライト 対予測比較



- ◆ 市況停滞下で受注確保を優先し、競合他社に対する対抗値下げによる
販売価格の下落

	2012年3月期 第2四半期 予測(8月4日発表)		2012年3月期 第2四半期		増減
	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)
売上高	80,000	100.0	81,124	100.0	1,124
営業利益	△3,500	△4.4	△4,627	△5.7	△1,127
経常利益	△4,500	△5.6	△5,353	△6.6	△853
四半期純利益	△5,000	△6.3	△5,599	△6.9	△599
為替レート (対米ドル)	予測 : 80円00銭		80円24銭		—

製品集計区分別売上高



	2011年3月期 第2四半期		2012年3月期 第2四半期		対前年同期比増減		概要
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	%	
半導体デバイス	19,346	20.9	15,781	19.4	△3,565	△18.4	モジュール製品の減少
光デバイス	6,518	7.0	5,527	6.8	△991	△15.2	PC用WEBカメラ 事業の整理。 高付加価値製品に 注力
機構部品	36,298	39.1	35,300	43.5	△998	△2.7	汎用製品の減少
高周波部品	17,162	18.5	14,590	18.0	△2,572	△15.0	モジュール製品の減少
電源部品	10,571	11.4	8,500	10.5	△2,071	△19.6	アミューズメント 関連の減少
情報通信機器	2,843	3.1	1,423	1.8	△1,420	△50.0	不採算製品からの 継続的撤退
売上高合計	92,742	100.0	81,124	100.0	△11,618	△12.5	

所在地別情報



	2011年3月期 第2四半期		2012年3月期 第2四半期		金額ベース 増減率(%)	概 要
	金 額(百万円)	構成比 (%)	金 額(百万円)	構成比 (%)		
日 本	45,803	49.4	46,569	57.4	1.7	地デジ関連・カメラ モジュールが増加
アジア	44,176	47.6	31,987	39.4	△27.6	無線通信モジュール が減少
欧 州	1,996	2.2	1,957	2.4	△2.0	震災影響で車載部品 の受注が減少
北 米	767	0.8	611	0.8	△20.3	
合 計	92,742	100	81,124	100	△12.5	

要約連結貸借対照表



(単位：百万円、%)

	2011年3月期 第2四半期末 (金額)	2011/3月期 (金額)	2012年3月期 第2四半期末 (金額)	増減金額 (3月期比)
資産の部				
売掛債権	54,901	63,624	52,600	△11,024
棚卸資産	32,093	30,305	37,483	7,178
その他	115,855	97,898	98,056	158
資産合計	202,849	191,827	188,139	△3,688
負債の部				
支払手形・買掛金	41,552	36,113	42,804	6,691
その他	20,305	16,054	15,339	△715
負債合計	61,857	52,167	58,143	5,976
純資産の部				
純資産合計	140,992	139,659	129,996	△9,663
負債純資産合計	202,849	191,827	188,139	△3,688
自己資本比率	69.5%	72.8%	69.1%	△3.7%
為替レート(対米ドル)	83円82銭	83円15銭	76円65銭	6円50銭の円高

要約連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

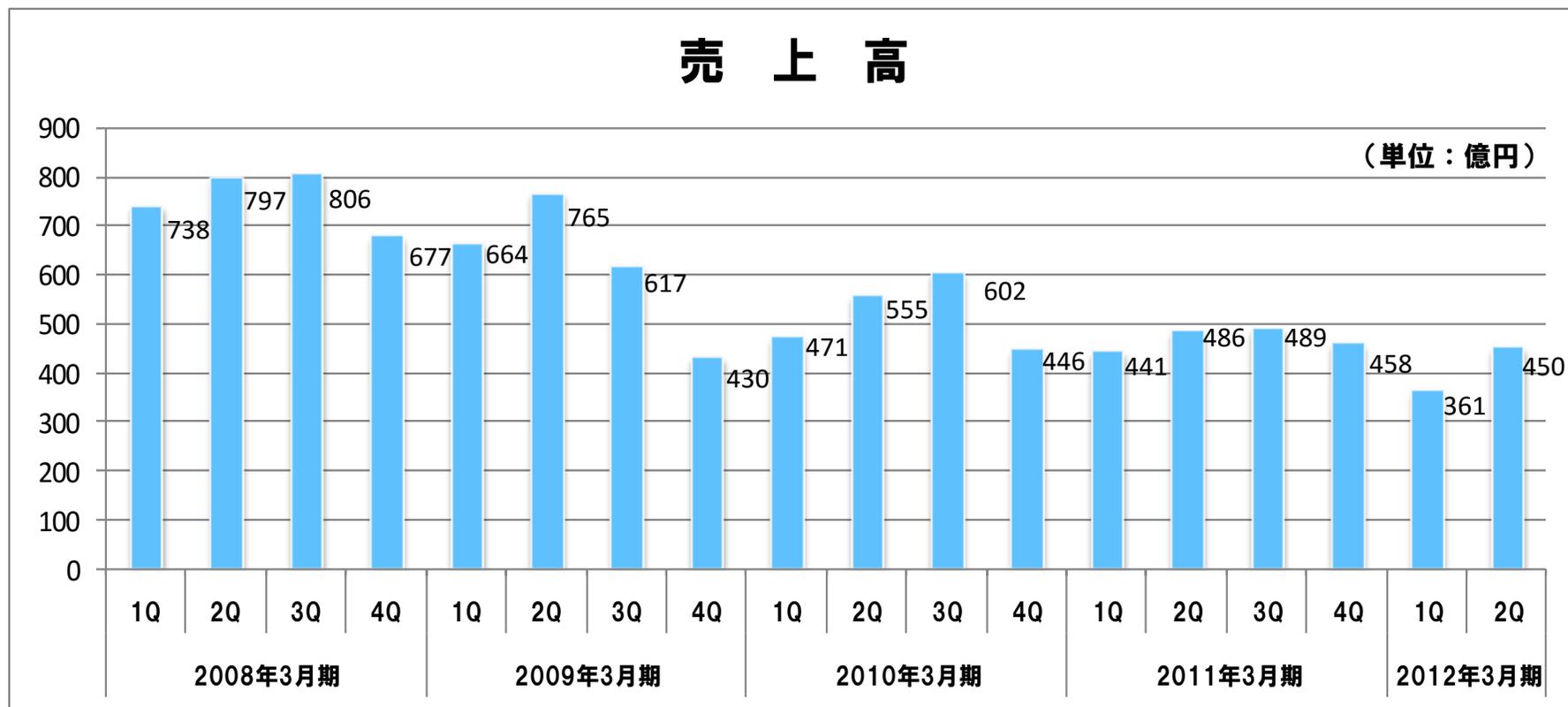
	2010/3月期 第2四半期	2011/3月期 第2四半期	2012/3月期 第2四半期	概 要
営業活動による キャッシュ・フロー	20,495	13,920	10,167	売上債権：10,416減少 たな卸資産：7,615増加 仕入債務：7,318増加
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,621	△6,862	△4,331	設備投資を削減
(有形固定資産取得)	(△3,295)	(△6,169)	(△4,095)	
フリーキャッシュ・フロー	16,874	7,058	5,836	
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,680	△3,056	△1,749	配当のみ
現金及び現金同等物の 増減額	12,317	3,040	3,050	
現金及び現金同等物の 期末残高	50,954	58,910	46,467	

四半期毎売上高の推移



◆ 当期の2Q/1Q比

アミューズメント・スマートフォン・タブレットPC向け等が増加

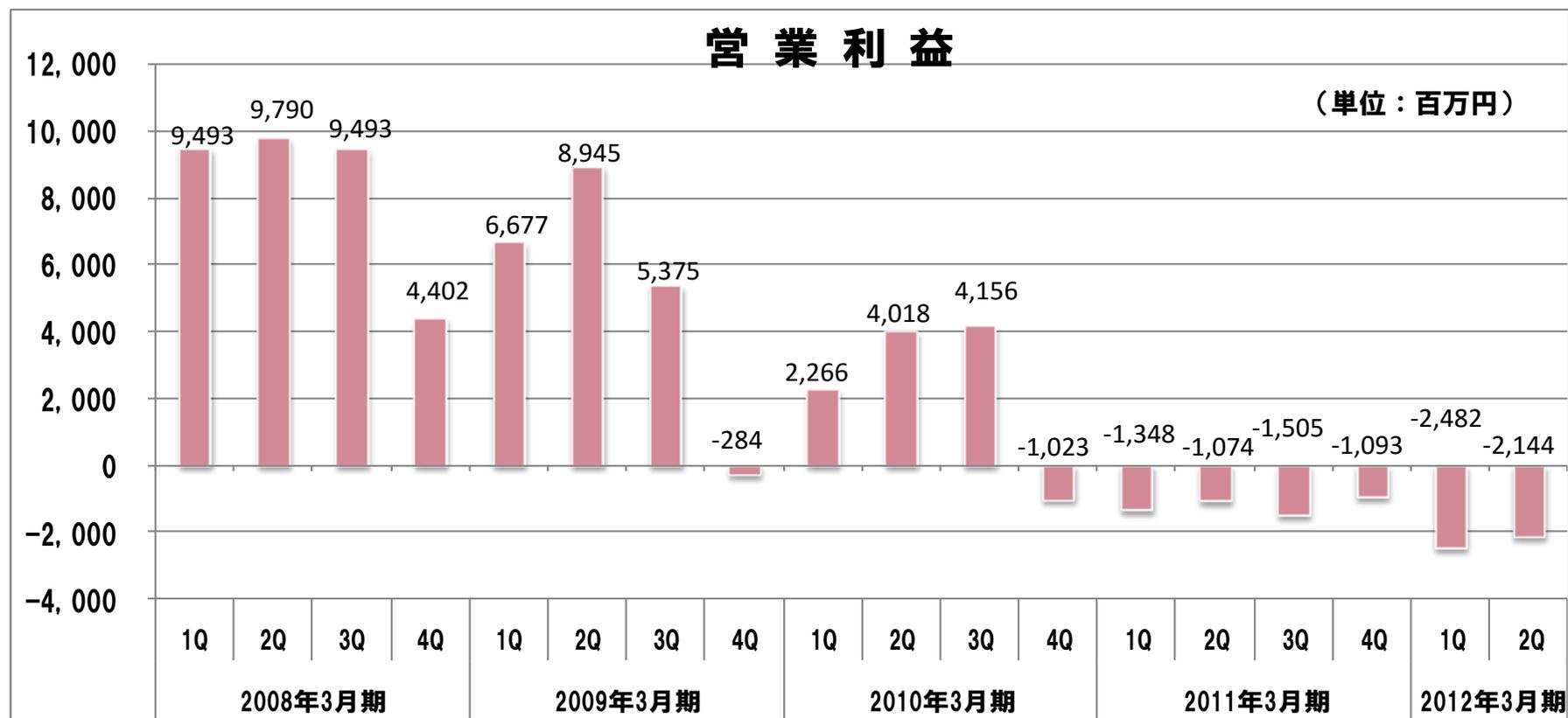


四半期毎営業利益の推移



- ◆ 売価下落に加えて平準化生産を行った結果、営業損失は2Q/1Q比で小幅に改善に留まった

2Q/1Q比： 売上高 +89億円(+25%)、営業損失縮小 +3.4億円



2012年3月期通期予想

通期業績見通し(通期比較)



- ◆ 主力製品の売上高が当初想定よりも減少
- ◆ 製品価格の下落と収益性の悪化
 - 米ドル建て販売価格の円高による下落
 - 新興国企業を中心とした競合他社への対抗値下げ

	2011年3月期 (実績)		2012年3月期 (11月4日予想)		増 減	
	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	%
売上高	187,418	100.0	168,000	100.0	△19,418	△10.4
営業利益	△5,020	△2.7	△8,500	△5.1	△3,480	—
経常利益	△6,387	△3.4	△9,500	△5.7	△3,113	—
当期純利益	△3,541	△1.9	△10,000	△6.0	△6,459	—
為替レート 対米ドル	86円04銭		上半期 : 80円24銭 下半期 : 77円00銭 通期 : 78円62銭		7円42銭の円高	

通期業績見通し(半期比較)



◆ 円高と売価下落の更なる進行により、収益改善は小幅に留まる見通し

	2012年3月期上半期 (実績)		2012年3月期下半期 (予想)		増減	
	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	%
売上高	81,124	100.0	86,876	100.0	5,752	7.1
営業利益	△4,627	△5.7	△3,873	△4.5	754	—
経常利益	△5,353	△6.6	△4,147	△4.8	1,206	—
当期純利益	△5,599	△6.9	△4,401	△5.1	1,198	—
為替レート 対米ドル	80円24銭		77円00銭		3円24銭の円高 (通期78円62銭)	

設備投資・減価償却費・研究開発費



- ◆ 売上高の伸び悩みを受けて、設備投資の圧縮を実施
- ◆ 将来の業績回復に向けて、研究開発費は前年規模を維持

	2011年3月期		2012年3月期 (予想)		増 減	
	金額 (百万円) 下段上半期実績	売上高比 (%)	金額 (百万円) 下段上半期実績	売上高比 (%)	金額 (百万円)	%
設備投資	13,802 (6,361)	7.4	8,500 (4,212)	5.1	△5,302	△38.4
減価償却費	11,443 (4,989)	6.1	12,200 (5,652)	7.3	757	6.6
研究開発費	13,393 (6,777)	7.1	13,000 (6,507)	7.7	△393	△2.9



◆ 前年より営業損失が拡大した結果、無配を予定

